

売薬の意匠あれこれ

〈その17〉 乗り物おもちゃ「飛行機」

北多摩薬剤師会会長 平井 有(ひらい・たもつ)

前号では、薬局でお子さんたちに差し上げていた車や船のおもちゃを掲載しましたが、今号では飛行機を紹介します。いずれの販促品にも各社の子どもたちに夢を与えたいという努力が感じられます。

組み立て式の飛行塔を販促品にしたロート製薬は、明治32年(1899年)に山田安民翁が開業した信天堂山田安民薬房に始まります。創業時に販売を開始した胃腸薬「胃活」は、現在の「シロンS」や「パンシロン」へと続きます。明治42年(1909)には点眼薬「ロート目薬」を発売し、後にOTC分野の目薬トップブランドへと成長させました。

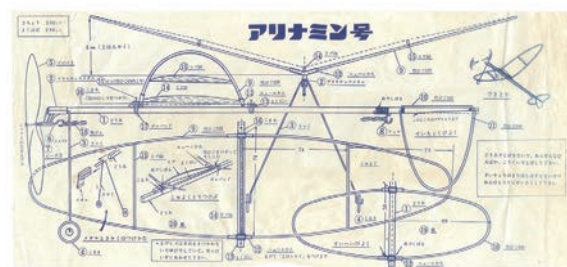
丹平製薬は、明治27年(1894)に大坂心斎橋に丹平商会として創設されました。現在も「健のう丸」(旧 健脳丸)や歯痛止めの「新今治水」などの伝統薬を販売している家庭薬メーカーです。

小林薬品工業は、明治19年(1886)創業。東京都中央区日本橋に本社を構え、岐阜市に本部、開発センター、4つの工場を有するOTC医薬品の開発・製造・販売を行う直販メーカーです。

(武田薬品工業については、MIL80号2p参照)



紙／「新ロート目薬」「シロン」、ロート製薬
飛行機型の Gondola が回る飛行塔を模したもの
(塔の高さ: 100mm)



紙製(一部竹)／武田薬品工業
20種もの部品を使って組み立てるゴム動力プロペラ機
(主翼の長さ: 295mm)



紙／「健脳丸」「新今治水」、丹平製薬
タコ糸を付け、回して遊ぶスタイルの
紙飛行機
(主翼の長さ: 170mm)

紙製(一部木)／「ヒストミン」
「パンクターゼ」、小林薬品工業
胴体に主翼と水平尾翼を差し
込むだけで出来上がる
(主翼の長さ: 240mm)

